



1. 自己紹介



永野 聡

博士 (建築学)

建築学科助手

東京



建築学
都市計画学

濠

准教授

研究機関研究員



福井

産学官連携

<テーマ>

ソーシャルデザイン・ソーシャルイノベーション

<研究内容/フィールド>

【研究1】震災復興エリアマネジメント研究/宮城県名取市

【研究2】ジェロントロジー研究/三重県志摩市

【研究3】ウェルネスツーリズム研究/三重県志摩市

【研究4】グリーンソーシャルイノベーション研究/兵庫県淡路島

【研究5】現代アートと地域活性化研究/新潟県十日町市

【研究6】シェアリングエコノミー研究/三重県紀北町

<受賞歴>

○IAUD国際デザイン賞2023銀賞 (立命館大学産業社会学部永野聡ゼミナールとして受賞)

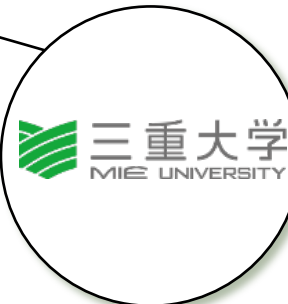
○令和4年度 科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞 受賞

○2021年 日本建築学会賞 (業績: 復旧復興特別賞) 共同受賞

○グッドデザイン賞2017 特別賞(復興デザイン)・グッドデザインベスト100(共同)

○大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2012・2015・2018・2024正式出展、越後妻有 大地の芸術祭 2022正式出展

専任講師



三重

教育工学、大学連携

文科省: COC+(知の拠点大学による地方創生推進事業)/高等教育コンソーシアムみえ

工

仙台

研究の紹介

【研究内容】

【研究1】 東日本大震災の震災復興エリアマネジメント研究

【研究2】 ジェロントロジー（老年学）× ロンジェビティエコノミー研究

【研究3】 持続可能性を考慮した地域と共創する「ウェルネスツーリズム」実証研究

【研究4】 グリーンソーシャルイノベーション（GSI）研究

【研究5】 現代アートと地域活性化研究

【研究6】 地域資源の継承を目的としたシェアリングエコノミー研究

【研究①】 東日本大震災の震災復興エリアマネジメント研究

【フィールド】 宮城県名取市閑上地区、カナダBC州バンクーバー市

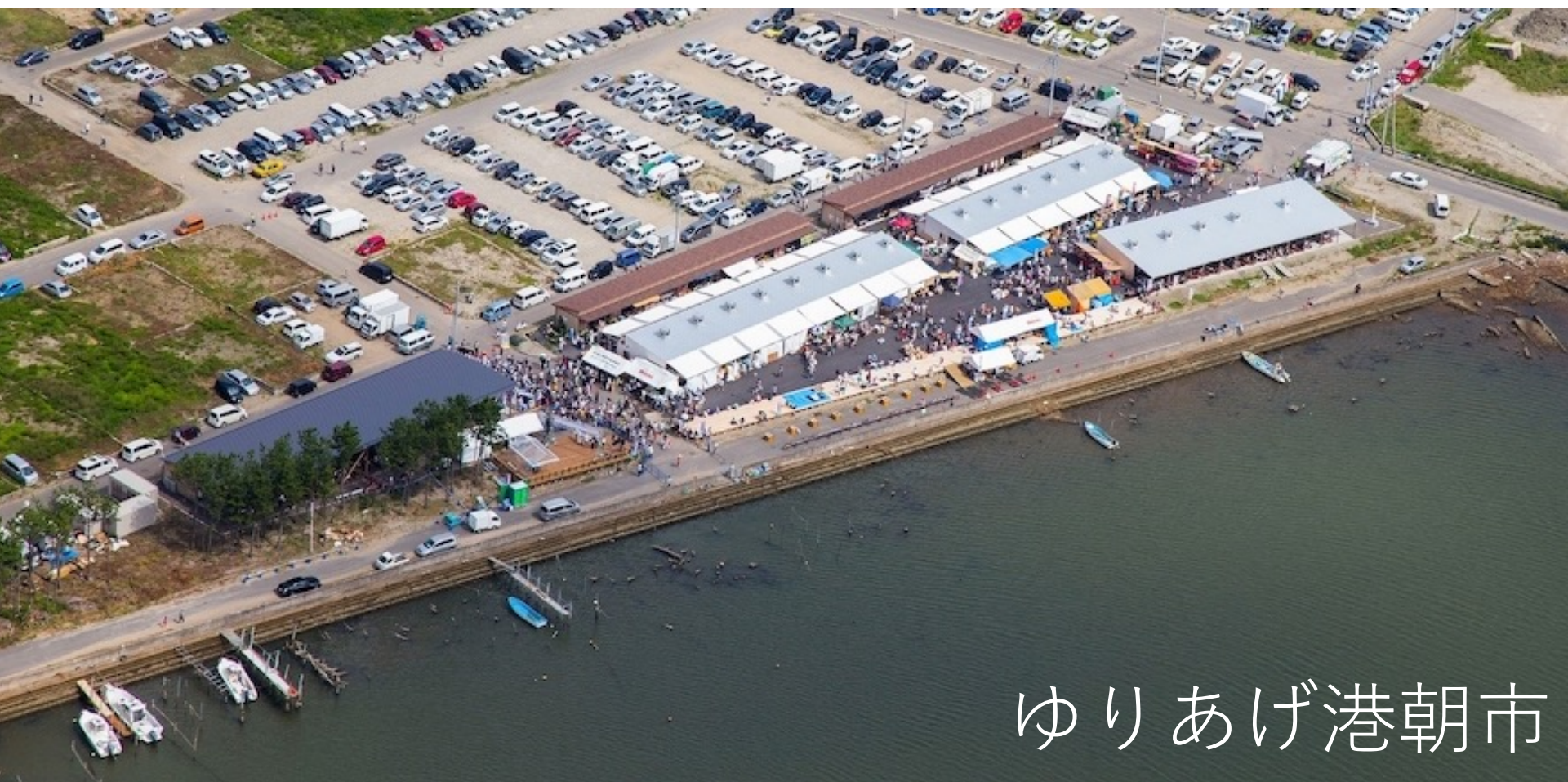
【内容】 震災以来10年以上関わってきた宮城県名取市閑上地区をフィールドとし、震災復興支援の活動を継続している。現在はコロナ禍における持続可能な地域社会デザインを行っている。その過程において、国内外の多主体と連携した実証実験を行いながら、若者の震災復興に対する理解増進も図っている。これまでの活動が評価され、2022年文部科学大臣表彰を受賞。

【連携先】 ゆりあげ港朝市協同組合、名取市観光物産協会、かわまちてらす閑上、住民、等

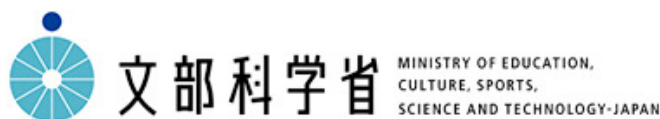


【研究①】 東日本大震災の震災復興エリアマネジメント研究

東日本大震災の復興支援活動から見えること（宮城県名取市）



ゆりあげ港朝市



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

令和4年度科学技術分野の
文部科学大臣表彰受賞



GOOD DESIGN
SPECIAL AWARD 2017
DISASTER RECOVERY DESIGN



一般社団法人
日本建築学会

2021年日本建築学会賞
(業績：復旧復興特別賞)



GOOD DESIGN AWARD 2017
BEST 100

ゆりあげ港朝市復興のユニーク性

①朝市復興と生活再建の併走

復興の原資：国内外からの多様な支援。

建物：工期を分け、段階的に建築し、早期に営業再開を実現。

生活再建：海辺に赴く機会を失い、地場の魚や野菜を購入する消費という生活の一部を失われた人々に、被災から間もない時期に、いち早く生活の一部を取り戻した。



②復興をきっかけとした国際交流（メイプル館）

カナダより約1.2億円の震災復興支援金により、朝市施設を早期に再建。

多様なボランティアや復興支援を受入れる拠点として機能し、地域内外の人々の交流の場を創出。

津波に関する講演や避難訓練を実施。津波避難の啓発活動も行う。



③民間主導の復興と活気

ゆりあげ港朝市を中心とする民間主導の復興となる。早期の現地再建を実現し、働く場と生活の場を取り戻した！

2012年5月のプレオープンから現在まで一貫して、溢れんばかりの来客を満たしている。朝市開催時（日・祝）は、5,000人～100,00人のお客が訪れる。

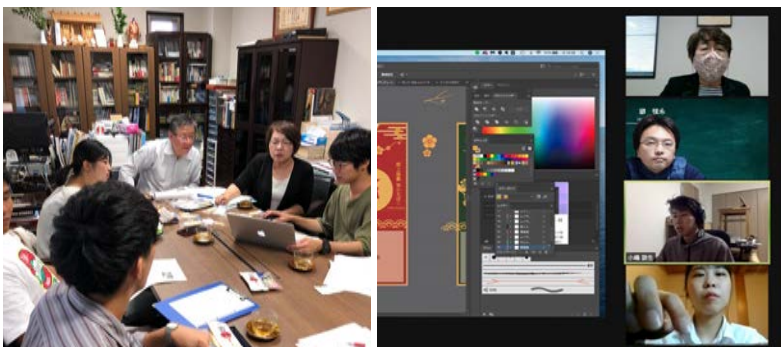


名取市関上とカナダの国際交流プロジェクト

名取市関上では、カナダより約1.2億円の震災復興支援金により、復興のきっかけを得た。そこで、多大なる支援を頂いたカナダの皆様にお礼とこれからの国際交流を実施するプロジェクトを始動。

<第一弾：関上復興笹かまぼこの商品開発>

関上の特産品でもある「笹かまぼこ」を活用（新商品づくり）して、地域の産業復興をカナダの人達にも知って頂く取り組み。



笹かまぼこメーカー（校友）との打合せ風景



校友連携で開発した「関上復興笹かまぼこ」

プロジェクト本文

▼関上からカナダへ、想いとどけ。関上復興感謝プロジェクト！

賞賛・関上からカナダへ、笹かまぼこづくりを通じた感謝の気持ちを伝えるプロジェクトに多くのご賛同をお願いします！

▼はじめまして、関上復興感謝プロジェクト委員会です

私たちの委員会は宮城県名取市関上(ゆりあげ)地区を舞台に、東日本大震災に際し多くのご支援頂いたカナダ・ブリティッシュコロンビア州および木材メーカー「カナダウッド」をはじめとする多くの人々へ感謝の気持ちを伝え、未来への交流を生み出していくことを目的としています。

▼プロジェクトを立ち上げたきっかけ

プロジェクトを立ち上げたきっかけは、まずなによりカナダの皆様から賛意をいただいたことです。

カナダ・ブリティッシュコロンビア州および木材メーカー「カナダウッド」より総額1億2千万円を譲渡し、ゆりあげ港朝市内に交流施設「メイプル館」と物販等を建設いたしました。

その他おかげもあり、メイプル館をはじめ朝市は早期に復旧、再開を果たすことができ、復興が大きく進展しました。

その他のご意見を「お返ししたい」「お礼がしたい」という朝市組合員の思いをきっかけとして実行委員会を組織し、本プロジェクトを始動しました。



クラウドファンディングを実施
(運営会社：Readyfor)

寄付リターン

5,000円

想いの共感への感謝

ギフト券メール
ゆりあげ港朝市内および朝市ホームページ上に名前を掲載
お名前が記載されたお礼状を送付いたします
お名前が記載されたお礼状を送付いたします
お名前が記載されたお礼状を送付いたします

お名前が記載されたお礼状を送付いたします
お名前が記載されたお礼状を送付いたします
お名前が記載されたお礼状を送付いたします

お名前が記載されたお礼状を送付いたします
お名前が記載されたお礼状を送付いたします
お名前が記載されたお礼状を送付いたします

お名前が記載されたお礼状を送付いたします
お名前が記載されたお礼状を送付いたします
お名前が記載されたお礼状を送付いたします

お名前が記載されたお礼状を送付いたします
お名前が記載されたお礼状を送付いたします
お名前が記載されたお礼状を送付いたします

お名前が記載されたお礼状を送付いたします
お名前が記載されたお礼状を送付いたします
お名前が記載されたお礼状を送付いたします

お名前が記載されたお礼状を送付いたします
お名前が記載されたお礼状を送付いたします
お名前が記載されたお礼状を送付いたします

お名前が記載されたお礼状を送付いたします
お名前が記載されたお礼状を送付いたします
お名前が記載されたお礼状を送付いたします

お名前が記載されたお礼状を送付いたします
お名前が記載されたお礼状を送付いたします
お名前が記載されたお礼状を送付いたします

お名前が記載されたお礼状を送付いたします
お名前が記載されたお礼状を送付いたします
お名前が記載されたお礼状を送付いたします

お名前が記載されたお礼状を送付いたします
お名前が記載されたお礼状を送付いたします
お名前が記載されたお礼状を送付いたします

お名前が記載されたお礼状を送付いたします
お名前が記載されたお礼状を送付いたします
お名前が記載されたお礼状を送付いたします

お名前が記載されたお礼状を送付いたします
お名前が記載されたお礼状を送付いたします
お名前が記載されたお礼状を送付いたします

お名前が記載されたお礼状を送付いたします
お名前が記載されたお礼状を送付いたします
お名前が記載されたお礼状を送付いたします

お名前が記載されたお礼状を送付いたします
お名前が記載されたお礼状を送付いたします
お名前が記載されたお礼状を送付いたします

お名前が記載されたお礼状を送付いたします
お名前が記載されたお礼状を送付いたします
お名前が記載されたお礼状を送付いたします

お名前が記載されたお礼状を送付いたします
お名前が記載されたお礼状を送付いたします
お名前が記載されたお礼状を送付いたします

お名前が記載されたお礼状を送付いたします
お名前が記載されたお礼状を送付いたします
お名前が記載されたお礼状を送付いたします

お名前が記載されたお礼状を送付いたします
お名前が記載されたお礼状を送付いたします
お名前が記載されたお礼状を送付いたします

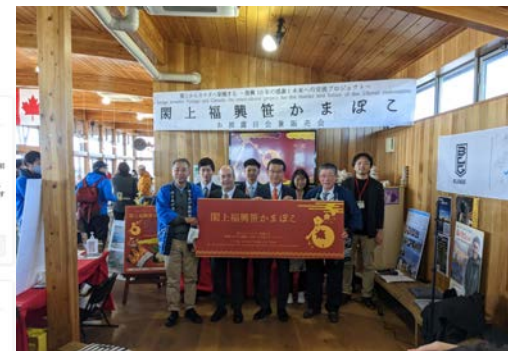
お名前が記載されたお礼状を送付いたします
お名前が記載されたお礼状を送付いたします
お名前が記載されたお礼状を送付いたします

お名前が記載されたお礼状を送付いたします
お名前が記載されたお礼状を送付いたします
お名前が記載されたお礼状を送付いたします

お名前が記載されたお礼状を送付いたします
お名前が記載されたお礼状を送付いたします
お名前が記載されたお礼状を送付いたします

お名前が記載されたお礼状を送付いたします
お名前が記載されたお礼状を送付いたします
お名前が記載されたお礼状を送付いたします

お名前が記載されたお礼状を送付いたします
お名前が記載されたお礼状を送付いたします
お名前が記載されたお礼状を送付いたします



関上復興かまぼこお披露目会
@ゆりあげ港朝市メイプル館



関上復興かまぼこお販売会@
ゆりあげ港朝市メイプル館

名取市閑上とカナダの国際交流プロジェクト

<第二弾：新しい風景づくり>

閑上地区に、10年・20年と残り続ける風景を作る取り組みを住民と実施。

1) 凧揚げイベント

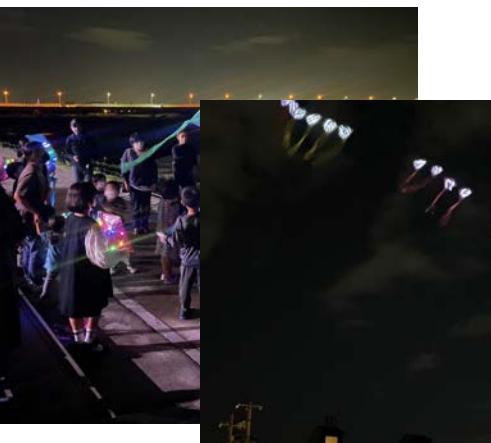
・閑散とする閑上地区の夜間に、親子で楽しめる賑わい創出する取り組み（光る連凧）を実施。

・閑上地区とカナダのバンクーバー（日系人、日本人コミュニティ）を同時（Zoom）に繋いで、同じ風景を作る取り組みも実施。同じ風景を通して、震災復興の際の繋がりを思い出すきっかけを創出。

2) 花植えイベント

・チューリップの花を球根から育てて、2023年5月4日にメイプル館で寄せ植えを実施。

・地域住民、市役所、カナダ大使館、大学でチューリップを育て、LINEのオープンチャットで過程をシェア。



夜空の連凧イベント



親子で楽しむ連凧づくり
ワークショップ



カナダ大使館Matt広報部長との花植えイ
ベントの打合せ

名取市閉上とカナダの国際交流プロジェクト

<第三弾：記憶の継承＋防災教育>

- ・震災復興の支援した側と支援された側の当事者同士での想いを共有する。
 - ・日本で得た津波被害の経験を元に、防災教育を実践する。
- 1) 震災復興の支援者たちへのインタビュー活動
- ・カナダウッドグループの代表らに震災復興の際にどういった想いで支援に携わったのか、インタビュー調査を実施。
 - ・ブリティッシュコロンビア州政府ラルストン林業大臣とも意見交換を実施。
- 2) カナダバンクーバーでの防災企画（講演会＋ワークショップ）
- ・津波被害に関する講演会を実施。
 - ・津波避難用の防災マップを作成。



ラルストン林業大臣との
意見交換



インタビュー取材



防災に関する講演会とワークショップを
実施

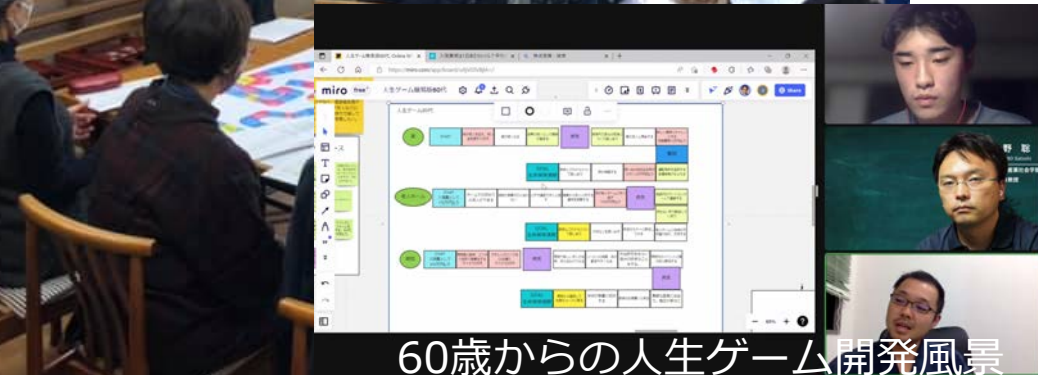
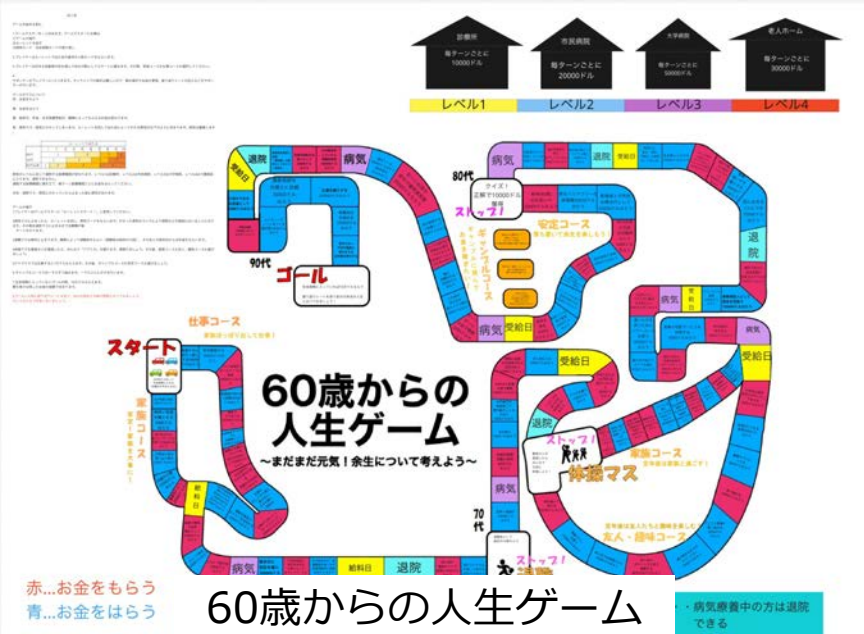


【研究②】 ジェロントロジー（老年学）×ロンジェビティエコノミー研究

【フィールド】 三重県志摩市、マサチューセッツ州ボストン市

【内容】 世界的な高齢化社会への解決策を積極的に提示していく。高齢者は「古い」にどう向き合い、受け入れ、新しい地平を広げていくか。人生の最期に「良かった人生だった」と一人ひとりが思えるための取り組み。そのためには、普段から家族・友人・医療介護従事者とのコミュニケーションが重要となる。そこで、開発した「60歳からの人生ゲーム」を用いて、高齢者一人ひとりに寄り添う形での聞き取り調査を行う。

【連携先】 志摩市、志摩市民病院、住民、MIT AgeLab、他

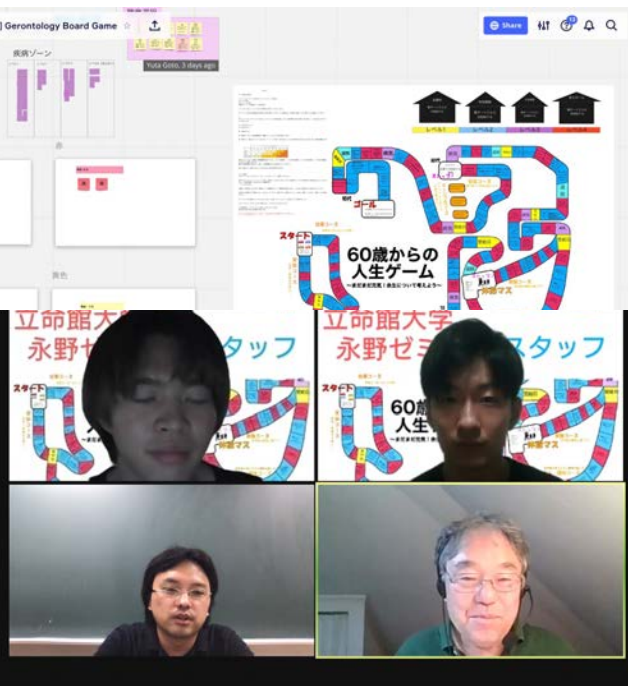


【研究②】 ジェロントロジー（老年学）×ロンジェビティエコノミー研究

現在、「60歳からの人生ゲーム」は、日々改良を行い4版まで完成。
三重県・滋賀県でのワークショップも実施。医療従事者や福祉団体のスタッフとも実施している。

2023年2月よりMIT（マサチューセッツ工科大学） AgeLabの協力を得て、英語版「60歳からの人生ゲーム」を使った高齢者とのワークショップを実施。

オンライン版「60歳からの人生ゲーム」も整備。



オンライン版「60歳からの人生ゲーム」実施風景



病院スタッフとの「60歳からの人生ゲーム」実施風景



MIT AgeLabの研究者たちとの集合写真

【研究②】ジェロントロジー（老年学）×ロンジェビティエコノミー研究

本研究の普及啓発を目的として、定期的なシンポジウムの開催や書籍の出版も実施。日米の研究者・実務家・医師が連携して、研究会を構成。

書籍の出版

立命館大学 ジェロントロジー学際研究委員会 Presents
ジェロントロジーの未来
 Future of gerontology
 Inspired by Social Design
 2021. 2. 22

キーワード: オムニジェロントロジー

永野聡氏 立命館大学准教授
 吉田辰孝氏 立命館大学教授
 永末裕久氏 立命館大学 客員教授
 江角悠太氏 志摩市市民病院 病院長
 中込 誠 立命館大学 客員教授
 永野聡 立命館大学 ジェロントロジー研究センター 代表
 久々江菜穂 立命館大学 客員研究員

その他の著者: 櫻井純氏, 金井紅夏氏, 三宅民夫氏, 進工五十八氏, 三上巳紀氏, 渡野高光氏, 久々江菜穂氏

本日の登壇者!!

ジェロントロジー = 未来を生きる学問!! (多様な立場の人が考えあひだし)

ロングライフウェルネス
 ジェロントロジーの理論と実践
 Theory and Practice of Gerontology:
 Long Life Wellness 永野聡 劉慶紅 三上巳紀 編著

ISBN978-4-6460-2148-1
 C0036 92000E
 9784846021481
 定価: 本体2000円+税
 1920056020003

人生100年時代
 を全世界で考え、
 行動に移すための必読書。
 人生をデザインしよう!

出口治明 APU学長推薦!!

本書のポイント

- 立命館大学永野ゼミのジェロントロジー研究チームが制作した「60歳から人生ゲーム」を使い、これからの人生を疑似体験
- 各界を代表するアクティブシニアが秘訣を伝授
- 高齢化率40%を超える三重県志摩市の新しい取り組みを紹介
- 地域医療を実践する病院長(総合診療医)の思い
- 学際的なジェロントロジー研究を紹介
- 人生を自らデザインするためのヒント満載!

論創社 定価○本体2000円+税



社会人とのウェビナーを実践



MIT AgeLab Joseph 所長よりビデオメッセージ (2024.3.22 シンポジウム)

【研究③】 持続可能性を考慮した地域と共創する「ウェルネスツーリズム」 実証研究

【フィールド】 三重県志摩市

【内容】 健康と観光を融合した「ウェルネスツーリズム」の研究を実施。

- ・「志摩市に来て健康になってもらう」をコンセプトに、地域観光プランの作成。
- ・病院と連携して観光プランを作成するのは全国的にも珍しい！
- ・一人ひとりが健康に関する「行動変容」を促すための仕組み作りを計画中！

【連携先】 志摩市民病院、志摩市観光課、志摩自然学校他



実証実験（自転車@志摩市内、シーカヤック@英虞湾、診察@志摩市民病院）実施風景

【研究③】 持続可能性を考慮した地域と共創する「ウェルネスツーリズム」実証研究

観光を通して、生活習慣を変容させる動機付け支援を行う。
また、積極的支援をする為に必要なデータを収集し、対象者の生活習慣を改善を目指す。

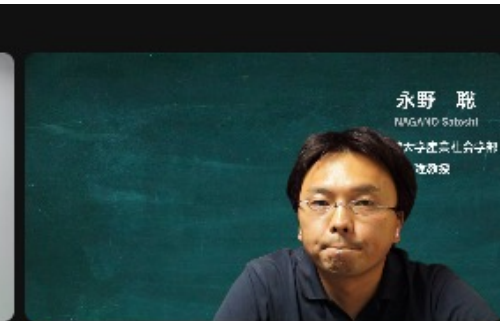
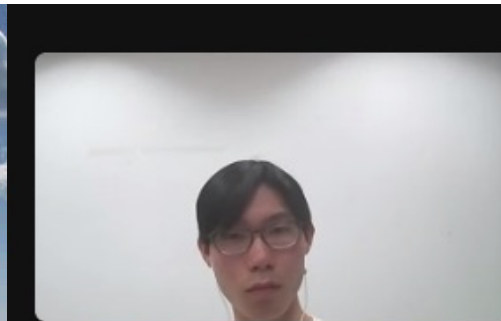
将来的には、団体ツアー旅行を企画する事としている。
観光の大きな課題とされる「季節平準化」についても大きなインパクトをもたらす。
ウェルネスツーリズム産業が大きく発展する可能性を秘めている。



病院スタッフとの
打合せ



観光プランの候補地
(横山展望台)



観光プランの検討会議@Zoom

【研究④】 グリーンソーシャルイノベーション（GSI）研究

【フィールド】 淡路島、丹後地域

【内容】

日本では、政府が2050年のカーボンニュートラル達成を目指し、地域のゼロカーボンシティ化を推進している。その一方で、地方では過疎化や高齢化による地域経済の低迷や、後継者不足による地域資源の消失など、さまざまな問題を抱えている。CO₂実質排出量ゼロに向けた環境投資に踏み切れない地域もある。そうした状況を踏まえ、グリーンソーシャルイノベーター育成プログラムを実施し、サステナブルな地域社会の成長や地球環境保全への貢献を目指す。

【連携先】 淡路島、京丹後市、パソナグループ、環境省等



淡路島でのフィールドワーク（廃校利活用、竹チップ加工場、竹の伐採体験）風景

【研究④】 グリーンソーシャルイノベーション (GSI) 研究

<取り組み概要>

- ・ 淡路島の地域課題となっている放置竹林の対策として、現状を知ってもらい議論の場を起こすための関係人口を増やす取り組みを実施。
- ・ 玉ねぎの残渣を活用し、サイティナブルな「衣」を考えるワークショップを実施。ファミリー層をターゲットとする。
- ・ 淡路島の間伐材を活用して、淡路島の森林資源の循環を考えるワークショップの開催。
- ・ 普段から捨てられてしまう家庭用廃油を活用した石鹸や肥料づくり取り組み。



放置竹林@淡路市内



資源循環の研修風景
@Awaji Nature Lab & Resort



玉ねぎの残渣@JA淡路

【研究⑤】現代アートを活用した地域活性研究 <大地の芸術祭への出展>

【フィールド】新潟県十日町市

【内容】中山間部の集落は、住民の減少に伴い、地域環境の管理や文化の継承を担う自治力の低下が深刻化している。一方、近年、アートを活用した地域活性化は、全国各地で実施されている。「越後妻有 大地の芸術祭」はその先駆けでもある。3年に1度の芸術祭では、期間中の経済効果は54億円となり、地域経済へのインパクトは絶大である。

そこで、現代アートを通じた地域活性化をテーマに、この芸術祭のアーティスト（外部主体）として参画し、地域住民と継続的に交流し、外部主体のあり方を模索する。

【連携先】大地の芸術祭実行委員会、地域住民、職人、農家他



【研究⑤】現代アートを活用した地域活性研究 <大地の芸術祭への出展>

コロナ禍に対応した、ハイブリッドな作品づくりを展開。

<オフラインの作品>

和紙の原料となる楮は、住民が育てた地域の資源である。和紙職人と協働し、和紙を、丁寧に1枚ずつ漉き込んでいる。和紙には草木染めの手法「先染め」を施している。1枚1枚の和紙は、タペストリーに形を変え、インスタレーションとして光を使った演出とともに披露。

<オンライン作品>

芸術祭を支える地域の自然・文化・産業へ着目した作品としてオリジナルホームページを開設した。以下がコンテンツとなる。

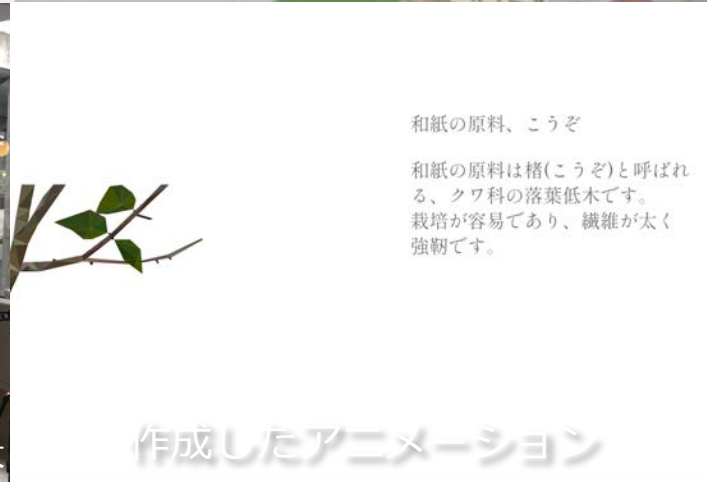
- ・和紙の原料である楮が和紙になるまでの一連の流れを視覚化したアニメーション
- ・芸術祭を支える人々のインタビュー動画
- ・高感度録音／録画による地域空間の再現



オフライン作品



インタビュー取材風景



和紙の原料、こうぞ

和紙の原料は楮(こうぞ)と呼ばれる、クワ科の落葉低木です。栽培が容易であり、繊維が太く強靱です。

作成したアニメーション

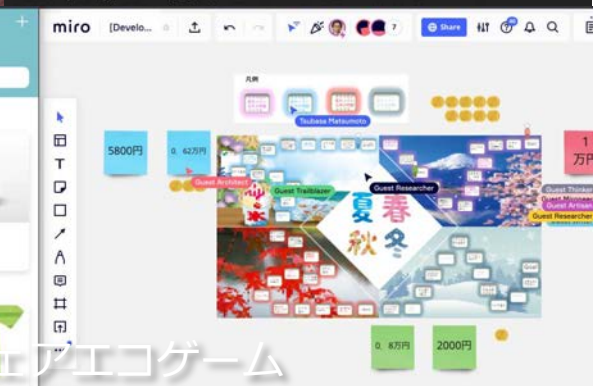
【研究⑥】 地域資源の継承を目的としたシェアリングエコノミー研究

【フィールド】 福井県永平寺町→三重県紀北町

【内容】

- ・シェアリングエコノミーと商業エコノミーの最適化（ハイブリッドエコノミー）を図る研究。
- ・銚子川のオーバーツーリズム対応に関して、自治体（紀北町）と共同研究を実施。

【連携先】 紀北町、地域住民、シェアリングエコノミー協会等



立命館大学産業社会学部 永野ゼミ 《公式情報》

「地域における社会課題の解決」を研究テーマに、2019年4月よりスタート！
最先端の社会課題（高齢者の生きがい創出、伝承料理、伝統芸能の承継、震災復興など）に向き合い、最新の手法を使って、解決に挑戦しています。



立命館大学産業社会学部永野ゼミ公式HP

<https://www.naganoseminar.com/>

立命館大学永野ゼミ公式Facebook、Twitter、Instagramもあります



立命館大学永野ゼミ公式Youtubeチャンネル「Rits
ワールドピース塾」



YouTube YouTube



永野ゼミクラウドファンディング情報

目的：クラウドファンディング大手のReadyforと連携して、人文社会科学系のクラウドファンディングモデルを構築します。

永野ゼミ ×  Readyfor

実施期間：
2019年5月24日(金)～6月28日(金)

目標金額:120万円、
131.9万円達成！

フィールドワーク費を多くの皆様のご支援で調達しました！

クラウドファンディングトップ・地域・地域文化・地域を元気に！人文社会科学系ゼミによるソーシャルイノベーション



立命館大学産業社会学部 永野ゼミの挑戦
フィールドワークを通して“生きた学び”を

初めまして。立命館大学産業社会学部の永野野と申します。

私が担当するゼミは、「ソーシャルイノベーション」と「ソーシャルデザイン」を研究テーマにしたゼミで、2019年4月新しくスタートしました。

どのような研究テーマなのかもう少し説明させていただくと「地方都市における社会課題」です。最先端の社会課題（高齢者の生きがい創出、伝承料理、伝統芸能の継承、震災復興など）に学生たちに向き合ってもらい、最新の技術を使って、課題を解決して学びを深めていき、解決に挑戦してもらいます。

【学生に1回でも多くのフィールドワーク実施できるように！】成果のご報告。プロジェクトブック(2019)の送付いたします。

お金がないからフィールドワークが出来ないを理由にしません！！

2. 今後の歴史都市防災研究所での調査研究活動

東日本大震災を中心として、
震災遺産や
震災の記憶の調査研究

世界に貢献する
RITSUMEIへ!

DMU

閑上のかつての記憶を採集する活動



ゼミ活動 + 卒論研究



CH



防災教育用の冊子 を作成 2024.3.30



歴史や震災遺構の 情報を追加



英語化



WS@日本+カナ ダで活用

